

地域共生社会に向けた

ヒト・モノ・コトをデザインする会社

「参加」と「活動」を向上させるためには、地域へのアプローチや連携による取り組みの実現が不可欠

ライフデザイン事業

ソーシャルデザイン事業

「生活期」リハビリ
認知症対応型デイサービス
リフォーム、福祉用具

P - B A S E

旅行サービスじえぷと(第3種)
ミライシニア活躍プロジェクト

とよた多世代参加支援
プロジェクト事務局

カンパニーデザイン事業

MAMEKICHI (まめきち)
【ポーたまおにぎり専門店】

人事・財務・総務・ブランディング

令和2年度の取り組み（〇〇 × P-BASE）

P-BASE

《まめきちワークスペース》
企業 ×
地域 × まめきち



《もみ殻燻炭づくり推奨》
福祉事業所 ×
環境学習センター



《麦ストロープロジェクト》
バーテンダー × よっといでん
B型事業所 × 農業



《浮き球プランター》
東北被災地 × 地域
B型事業所 × よっといでん



《独身おじさん料理会支援》
企業 × CSW
地域 × まめきち



《認カフェ立ち上げ勉強会》
地域包括 ×
地域 × まめきち



《放課後デイの交流会》
放課後児童デイ
× まめきち



《福祉事業所マルシェ》
市内福祉事業所
× まめきち



令和2年度の取り組み（〇〇 × P-BASE）

P-BASE

《入門BCP勉強会開催》

福祉事業所 × まめきち



《竜神ミライシニア》

ひまわり包括 × CSW
あすて × まめきち



《CF片手コーヒーで医療
従事者を応援したい》
賛同者 × まめきち



《伴走支援BCP勉強会開催》

福祉事業所 10者
× まめきち



《被災地10年視察ツアー》

旅行サービスじえぶと
有志 × まめきち



《同窓会サロン立ち上げ》

日本福祉大学同窓会
× まめきち



《足助4Sの会メンバー》

足助地区福祉事業所
× 足助CSW × まめきち



《防災すごろく作成協力》

地域自立支援協議会
× まめきち



令和3年3月

「とよた多世代参加支援プロジェクト」設立。

P-BASEが発起人となり、地域共生社会の実現にむけて、民間福祉事業所の横連携で「新しい取り組みのカタチ」を生み出すために共感した事業所等による会員組織。



令和3年3月キックオフ会議



公的サービスでは対応しきれないニーズに対応するサービスを創出・提供することで、高齢、障がい、子ども、生活困窮等の様々な課題を抱える人が安心して暮らすことができる地域共生社会の推進を目的としてスタート。

令和3年5月から



参加支援事業の一部を担うこととなった

とよた多世代参加支援プロジェクトの「ミッション」

令和3年5月 「とよた多世代参加支援プロジェクト」設立総会

P-BASEほか数者が発起人となり、賛同を頂いた市内の福祉事業所等を交えて、主旨の確認、役員紹介などを行い、プロジェクトを始動させた。



令和3年5月 設立総会の様子

ミッション1

利用できるサービス等がなく、困難を抱えた住民の個別支援について、豊田市からの支援依頼を受け、居場所や生活改善の場等を創出し、提供する。

ミッション2

事業の根幹となる地域共生社会の推進に関する民間事業所への理解促進

今年度テーマ「仲間づくり」と「おたがいを知る」

① 団体構成 (R3.10.20現在)

市内の法人又は事業所等	38	
【内訳】 高齢者関係	5	(特養、認知症デイ、リハデイ等)
障がい者関係	11	(生活介護、就労B型、自立生活センター等)
子ども関係	2	(放デイ、通信学校、プレーパーク等)
社協	13	(各支所、出張所)
その他	8	(農業家、生花店、学生団体、フリースペース等)

② ロゴマークの作成とLINE@運用開始

入会、非入会を問わず、LINE@への登録を促し「キモチ」のある方々への情報発信を実施。



今年度は、「仲間づくり」と「おたがいを知る」

③活動内容

- ・市から依頼を受け、対象者本人の支援の創出及び提供 3件（R3.10.20現在）
- ・研修会の実施 月1回(オンライン)

6月／生活期のリハビリテーションについて	【参加12名】
7月／むもんの農業と今後の展望	【参加14名】
8月／中山間地の福祉事業所の展開	【参加14名】
9月／心の根っこは遊びで育つ	【参加26名】
10月／通信制高校（ルネサンス）の仕組みと学び	【参加22名】
11月／特養の社会的役割「+α」	【11/19予定】



参加者同士でお互いの活動を知る。困りごととも共有。新たなつながりもできる。

- ・役員会の実施 月1回
- ・新たな取り組みの創出に関して、関係者との意見交換など

今年度は、「仲間づくり」と「おたがいを知る」

③活動内容

- ・新たな取り組みの創出に関して、関係者との意見交換など

例1) 就労B型事業所の「園芸」事業にひきこもり青年が関われる仕組み

園芸農家

×

B型事業所

×

多世代P

例2) 児童養護施設の雑木林を「共生型の森」にする意見交換

児童養護
施設

×

CSW

×

地域包括

×

農業家

×

多世代P

例3) 若手農家さんのフィールドを活用して、引きこもりや困窮者などの多様な人たちが出入りして「仕事・居場所・役割」を作り出す仕組みづくり

地域包括

×

多世代P

×

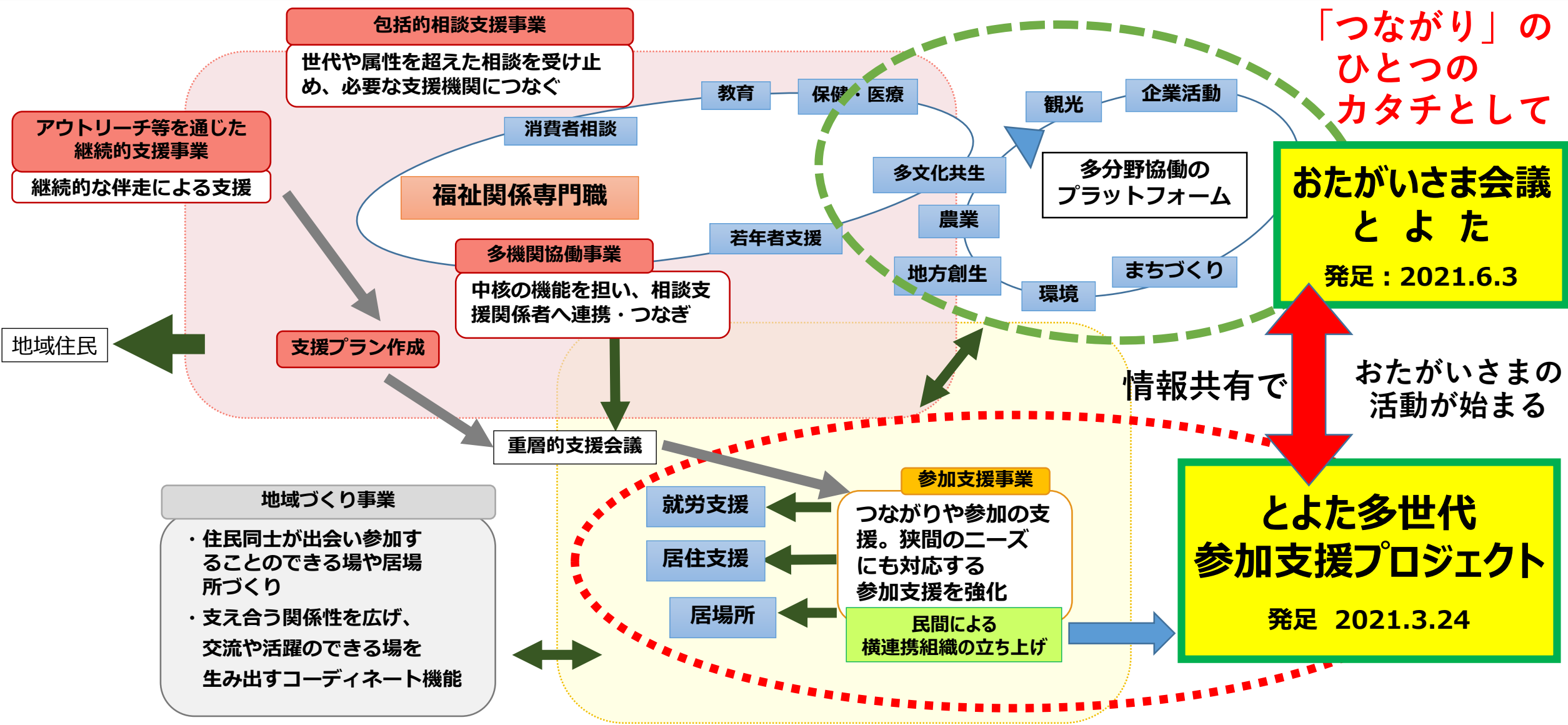
農業家

×

CSW

×

障がい事業所



おたがいさま会議とよたの発足と参画

- ・ 隔週木曜の夜にオンライン開催される「情報交換の場」
暮らしの困りごとに焦点をあてて、ゲストが事情を話し、つながりを模索する

《実行委員メンバー》

- 萩原 喜之 株式会社三河の山里コミュニティパワー
- 濱野 剣 JWCO 一般社団法人日本福祉協議機構
- 鈴木 聖人 一般社団法人豊田青年会議所
- 鈴木 辰吉 一般社団法人おいでん・さんそん
- 伊東 浄江 NPO法人トルシーダ
- **栗本 浩一 合同会社P-BEANS**
- 首藤 政俊 一般社団法人Will
- 木下 貴晴 KINOファーム
- 伊藤 秀一 株式会社ジオコス
- 森友 勇 株式会社レ・ヴァン
- 鈴木 夏江 有限会社一鈴ビルマネジメント
- 荒川 洋一 豊大株式会社
- 大谷 忠幸 株式会社おたに商事



事業創出が、個別の困りごとに寄り添える

「誰にでも役割がある」をテーマに進める『麦ストロープロジェクト』

障がい事業所



農業

福祉

飲食

弁護士



JCの皆さん



ありがとうございました

介護事業所



地域のボラさん

